Organon	Class: 1	rial	-ogic -l	_esson3-
最小命題論理	の一迷行片	j: 言	正明の控	
数学の言正日月の特定言	E明で用いた名	が牛では	包里内心日月永	せよ・
<u> </u>	さばんたの式	(人反应	2)はすべて落	とさんなけんばならない。
控の中り方				
$d \rightarrow \beta \rightarrow \gamma$	d d	→ B	۵	
$\beta \rightarrow \gamma$		β		
	γ			
	d 7 m			
	(みかい) ラスト	γ		
(d+B+	か) つ(み)ら)	·→ ペー	7	
うえの言正日日図かり	‡定で守って…る	か一見	しわかりにくい。	そこでイ反定の論理
式に文字ス,4,2,…る	用いてラベル	21717	夫見別つ"	
7:	<i>d</i>		M - N - N O	N-2
M	β		M: 0 7 B	N: d
(λα.	M): d→β		(MN1:B	
とうかしの使い方を定と	かる。 すると	定は		
「青正日月	図の最後の診	美里 式	かいもつラベル	Q内内14意の文字
スは,	すくなくともっ	-回QI	45.	
*	λ.	Z	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	
という	かたちでも見り	しなけん	ばならない」	
となる。このラベルル			_	
				1 1
				1095
20	June	20	>19	μ1167 :

Urgi	anonc	lass: 1	ria Logic	2-Lessons
言正明国の何」(己	<u>(z.)</u>			
さきの(d → (3 → Y).	→ (d → B)-	ナダッグ に至	る言正日月図で入って気
えつけて 書き直す				
ベ:	a > B > ~	を:め	4: a → B	Z: ch
	(XZ): B-	γ	(85):	β
	(((22)(42)): ~	
	The state of the s	3:(7/2)(42):	A 2	\
٨٤.((((5t)(fx));	(d + B) ->	ムラン	— <i>\\</i> \\
1/2.	()7.(/5.()	(23)(43))	:(ペーβラア)→	(d+B)+d+7
实厚架, '文', 生, 生	() ニネオレス)	ハン、ハン	/ /ファ/ かい 王見	KZv3.
地ですった λ− 耳の	N/51			
λμ.χ				
١2.(えな. ((24)	4)		
(\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	k) (\max. (\max	y.((xy)y)))	
中定る石皮った ハーエ真	0151			
ブ ():	ス. ス)	engkanjaja gyptista and nazysta jesyptych na a - a - asytytyp - arman dafrastistojnia: arman ankastisting kina - arman je opi opi api antagaring videntar a jesy kynir dijengkar		
λχ.	4	in with delight datum a gall for Myster can a morn dyflutfortion promonyngapaeth furthelister for gapanister for gall for the state of		
(λα,	な) な	kalan ya eliku aganggan ang antara e ngalang aga an a sanah etingano may ang agang atara sa - na sanah etinganggan ang antara et ngalang aga an a sanah etingan may ang agang atara sanah ang agang atara s - na sanah tanggangan ang ang ang ang ang ang ang an		
$\chi^{'}$				
	er ar ver eit voor uppruppen, milijahilinger genetji, volgheld sood i verbrijfelijke heeld is, ei stjedelijke de so en verte ver eit voor uppruppen, milijahilinger genetji, volgheld sood is verbrijke sood en de stjedelijke de s			
XX.±				
注意	キュウ ー"」ナム・	. W /u ? /	will state a to the	おおり、おんずかみり、
				変数と東紅事変数と
				はすせんでいることがり
	, へのよっな λ			計算を改めて扱うと
之に詳述する。//				<u> </u>
				_

20 June 2019

н 7768 :

Organon Class:	viaLogic	-Lesson	3-
	0-		

0	0
正規化定理	
永南 <u>夏夏 ○ k-/+生 ······ 永</u> 南夏夏 3_1	(吏って言正8月していいのは、そのとも直丰幸言正8月かで可旨を
であるから ^→このことで	使って言正明していいのは、そのとき直井幸言正明が可能を えわんりんは日常の数学で用いている。
言毎三里レベルのネ南題 Ok任(局	<u></u>
ル: 々	
M: B	J:q
λx.M: α > β	x:d 14:B
() な. M) な:	
という安代をしていいと	いうさと、
直扁耳里レベルのネ南 題のk/生(大	七
どんな言正8月図 のうえの	の変形のけっかり
	E-rules
	I-rules
というかたちになること	・ つまり、言正四月図の上便川は月余去夫見見りのみか
ら、下個川は導入夫見見りのみか	らなるかたちである.
△→ このような言正8月图で正	規な言正日国 という。
正规化定理	
- どんな言正日月図も正夫見	えな言正日月回に書き十奥えらんる.
- 書き換えのアルゴッズ	4かシ来まっている。
この定を里のフォーマルな言正明	月はのちに与えらんる。
	3 A.

20 June 2079 #7769:

Organon Class: via Logic - Lesson 3-
(正夫見な)言正明図の書き方
→にかんし、なか率的に正規な言正明四2者へ一般的方3去がある。
言角を里式 ペー ((ペール) ール) でんかりにとる。
まず、最後に導入された言倫を里結合子」に着目する。 めつ((めつら)つら)で言正明す
るためには、→のI-Ruleを使ったはずであり、そのばあい式のかたちからに
I-Ryleは dと (d)B)→Bに適用されている。つまり,
$d\Theta((d\rightarrow\beta)\rightarrow\beta)$
で、ミドリで、国った、然吉合子→か、「最後に導入さんた論理経行子」である。こ
のとき、 言正日月図は つぎのかたちでしている:
$(\alpha \rightarrow \beta) \rightarrow \beta$
d→((d→β)→β
つぎに (d → B) → Bについて 同様に考える、I-rule は (d → B) × Bに適用
さん, 言正日月回 はつぎのかたちをしている
β
(α→β)→β
$d \rightarrow ((d \rightarrow \beta) \rightarrow \beta)$
よって, 女と ×→Bを1反定して Bを特高のする必要がある。しかし、これは
巨-ruleを用いて一強でできる:
4:d→B 7:d
(4x): B
$\lambda x.(\lambda y.(y.x):d \rightarrow ((d \rightarrow B) \rightarrow B)$
このように言正明したい式のかたちから、その一つ前のステッフoの式のかたちを
並算することで、一発で電正明図をかける。 4A
20 June 2019 #1170:

Organon Class: via Logic -	-Lesson 3-
前頁の言正日月図は、ふたつの音をからできていた:	
-イ反定にE-Ruleで適用し、これ以上分解できな	い、はまでお飼みする
- そののち, I-Ruleを適用し, 1反定を落てして.	٠,
$d \rightarrow \beta$ d	
ß	
Y	
ß	
(d→B1→B	
$\alpha \rightarrow ((\alpha \rightarrow \beta) \rightarrow \beta)$	
とである。 こんか正夫見な言正明国でする	
正夫見な言正日月図の性質、ありかたみ	
一前提が結論で主張するための日ろかな根投して、あるとき、	日南的にわんわん
はその言奏言扁・キ住言偏か…言倫王国白うで、あると考える。	
一それらでシミュレートした刊少式体系かい「言倫を里自ら体系」です	あるために、糸吉論で
(反定に物、置えできてを欠い、	
- 「回り道のない」正夫見な言正明図はその要請をみたしている。	
- どんな言正明図も正規な言正明図に変形できること(正	夫見人心定王里) は、さ
ろに、その形が式体系内のどんな キ色論・演繹も正しいな	ら無言論之仮定に置
元 ごきることで1保言正する (ネ甫是夏の1个生のシミュレートレベル	- ついの正当化)。
	50%
	5
20 June 2079	μ7771: